

令和5年度 第2回土佐清水市総合振興計画等検討会議 概要

日 時：令和5年11月29日（水） 16時00分～17時40分

場 所：土佐清水市役所 2階 第1会議室

出席者：別紙のとおり

説明者：農林水産課、観光商工課、企画財政課、健康推進課、こども未来課、生涯学習課

事務局：企画財政課長 横山英幸、企画財政課補佐 高橋良美、政策企画係長 畠中陽史、主事 尾崎智彩

会議概要（要約）

【会議次第】

1. 開会
 2. 委員長挨拶
 3. 委員自己紹介
 4. 議事
- ①第2期 土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 令和4年度取組の実績、令和5年度取組状況中間報告

○農林水産課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（土居委員）

- ・農産物の出荷量の減少について

JA を通さない流通があることと、ふるさと納税の減少が要因としているが、ふるさと納税の状況については、市役所内でどのような状況なのかは把握が可能であると思われるので、もう少し整理した数値としていただきたい。

（和泉課長）

果樹等については、高知県も調査を行っているため、提出する数値については、所管課で再度検討し、もう少し具体的な数値を提出するようにします。

- ・清水サバについて

清水サバの漁獲量が減っているという厳しい現状について、海水温度やサメの影響が大きいと思われるが、何も対策しないのでは、漁獲が上昇しない（目標を達成できない）のではないかと。

（和泉課長）

サメの駆除は年に2回行っている。今後も対策について検討していく。

(山下委員)

- 道の駅めじかの里について

めじかの里については、入り込みの状況や売り上げの状況とかすごく伸びている。スタートの1年が大切な一年であり、その間に出た課題について、1年先2年先を見据え、しっかり解決していくことが非常に重要であり、県・市・指定管理者で一体的に検討していくことが重要である。県（地域本部）も協力していくため、イベントなど市も積極的に声掛けしていただきたい。

(和泉課長)

よろしくお願いたします。

(大平委員)

- メジカの漁獲（量）について

メジカ産業は、市の伝統産業として取り扱っている中で、漁獲量の減少が伝統産業の衰退にもつながる。市からの支援をすべきと考える。漁獲が増えないと、魚価が高値で推移するため、業者側もかなり困っていると思うため、もう少し具体的な施策も考えていただきたい。

(和泉課長)

漁場探索については、例年、下ノ加江船主会の方々にご協力いただき調査を行っている。この調査に対する支援を行っている。それに加えて、漁業指導所にも、色々な情報を提供していただくように、お願いしているなど、漁業指導所と連携し、情報提供を行っている。

○観光商工課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

(大平委員)

- 外国人宿泊者数について

外国人の宿泊者が伸びていることについて、土佐清水市へのダイレクト（着地）宿泊なのか、四万十市などからのルート（コース）による宿泊なのか。

(酒井課長)

しっかりとした動向調査を実施したわけではないが、まず団体（宿泊）については、本市にダイレクト（着地）宿泊して、その後本市に留まることはほぼない。

個人客については、お遍路さんが多くなっており、お遍路さんは比較的民宿に宿泊されるケースが多い。

(田中委員)

- 観光インターンシップについて

現在、清水高校においてカリキュラムの大幅な改変に取り組んでいる。土佐清水市の台湾インターンシップを学校の学びに繋げたいと考えており、教育との連携やタイアップができないか。

(酒井委員)

観光インターンシップは平成28年から始まっており、大学の方との協定があつてのこととはなるが、本市としても、観光のみならず、様々な分野で活用できればと考えるため、検討させていただく。

(土居委員)

- ・トラベルキャンペーンについて

本市への誘客施策であるトラベルキャンペーンは、リピーターも多く、そのリピーターの方々が最終的に本市に移住につながればと考えており、このトラベルキャンペーンの継続を依頼する。

(酒井課長)

継続に向け検討する。

(間崎委員)

- ・ふるさと納税について

ふるさと納税の寄附額が多い市町村(例:室戸市)と比べ、本市との差や違いや要因をどのように考えているのか。

(酒井課長)

要因は色々あると思うが、一つには近年のふるさと納税がネットショッピング化しており、これらに対応する経営的なマーケティング要素を持つような事業者への業務の外部委託があると考えます。また、本市におけるメイン(御礼品)は水産物であるが、小規模事業者であり、物量に差があると考えます。

○企画財政課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容(要旨)】

質疑無し

○健康推進課より資料を基に説明

質疑無し

○こども未来課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容(要旨)】

質疑無し

○生涯学習課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容(要旨)】

(土居委員)

- ・子どもたちのスポーツ(スクラム)について

子どもたちのスポーツ活動への事業補助の状況は。

(西原課長)

令和5年度は、バドミントンやソフトテニス等の教室開催など、予算の8割程度は実施しています。

②土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略と土佐清水市総合振興計画の一本化について

■土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略と土佐清水市総合振興計画の一本化の趣旨説明

- ・土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略と土佐清水市総合振興計画を一本化
- ・土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間を令和8年3月に延長
※詳細別添資料のとおり

【質疑・意見交換内容（要旨）】

質疑無し

- ・土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略と土佐清水市総合振興計画を一本化
- ・土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間を令和8年3月に延長
について、承認

5. その他

○事務局より

土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の延長に関し、KPIの変更を含め、令和6年3月に同検討会（書面決議）にて改正の審議を依頼する。

【閉会】